

授業概要

保育内容（表現・造形）Ⅰでの学習を更に発展させ、幅広く造形活動に取り組む。
子どもたちの造形表現活動に誠実に寄り添い、適切なかわり合いができるよう、さまざまな技法材料体験を重ねて、表現にかかわる展開と応用をについて学ぶ。
また、表現の動機となる年間行事や季節感、伝承遊び、絵本の創作技法なども課題に取り入れ、柔軟な指導のあり方について考えていくよう指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	春の造形活動 ①壁面装飾 似顔絵の旗
第3回	春の造形活動 ②つながる迷路 色紙ランド
第4回	春の造形活動 ③こいのぼり
第5回	材料の比較研究 ①紙粘土、木粉粘土
第6回	材料の比較研究 ②線材料 針金、糸、ひも
第7回	材料の比較研究 ③自然素材 木工作
第8回	材料の比較研究 ④木工作 続き
第9回	遊びと工作 ①かざぐるま
第10回	遊びと工作 ②さいころパズル
第11回	絵本からの展開 ①オリジナル色紙作り
第12回	絵本からの展開 ②コラージュで折りたたみ絵本作り
第13回	絵本からの展開 ③作業の続き、完成まで
第14回	夏の造形活動 ①花火大会（共同制作）準備と構想
第15回	夏の造形活動 ②作業の続き、完成まで
第16回	課題のまとめ、作品返却

到達目標

造形表現についての理解を深め、自身も創造的で自由な表現を楽しむことができること。実際に保育の現場での指導、援助に活かせる柔軟性と応用力を身につけることを目標とする。

履修上の注意

必要な画材、用具を用意するので、教材費¥1000が必要になります。
各自、水彩絵の具一式のみ用意すること。（ポスターカラーなど手持ちのもので良い。）

予習・復習

基本的に授業時間内での作業とする。事前にアイデアを考えてくる、または遅れた作業を挽回するなどの指示をすることがある。

評価方法

授業に取り組む姿勢、課題作品の完成度と内容、出席状況、準備、後片付けを含めた総合評価。
課題作品50%、平常点20%、まとめレポート20%。

テキスト

必要に応じて資料プリント配布。